

# オーダーメイド強化

## 自動設計システム導入 短納期で製造

テムを導入し、個人の体形や用途に合わせて短納期で製造できるようにした。スポーツ愛好家や建設業者らの需要を見込み、販売拡大を狙う。

## ダイヤ工業「全身サポーター」

全身サポーターは伸縮性の高い化学繊維を使用。首回りから脚まで覆って姿勢を安定させるとともに、肩や背中部分を張力の強いパーツとの二重構造にして筋肉を保護・補強する。2009年に開発し、既製品を年約2500着販売している。

自動設計システムは昨年9月、3千万円をかけて導入した。3次元スキャナーで顧客の胸囲、腕の太さなど全身160カ所を計測。

動作解析装置で姿勢のゆがみや体のバランスも検出し、生地



ダイヤ工業が導入した動作解析装置。個々の体形に合わせた全身サポーターを設計できる

を設計する。さらにサンプルの試着で補強パーツの位置を調整し、受注から約2週間で仕上げる。

松尾正男社長は「顧客の体形や用途にき

め細かく対応し、国内外的他社製品との違いを打ち出す。コレットなど他の商品でもオーダーメイドを強化したい」と話している。

定で、自動設計システムに組み込めば3時間程度で作れるようになるという。これまでは期)、従業員104人  
手作業で採寸や試作をしており、1カ月近くかかっていた。  
社によると、オーダーは既製品(3万5千円)より3〜4割高め。以前はプロ野球や競輪、競艇選手などの特別注文がメインだったが、市民ランナーやスポーツを楽しむシニア世代といった一般からの受注が増加。建設作業員らの需要増も見込み、月間受注量を現在の10着程度から、3年後には600着に引き上げたい考え。

3年設立、資本金1千万円、売上高34億5400万円(15年3月期)、従業員104人(パート含む)。  
(伊東圭一)



ダイヤ工業の全身サポーター(既製品)

来年夏にも完成する予定

ダイヤ工業は196